

学校評価委員会

(以下 保護者代表：保、評議委員：評、園代表：園 と表記しています)

○1部 2023年度の自己評価について

<長期預かり、日々の預かりについて>

園として…今年度は、2学期の始業を小学校に合わせて、1週間早める。

春休みは今まで預かりをしてこなかったが、2日間、預かりを入れる。

保：長期預かりの日数。もう少しあった方が・・・という声が多いのは事実。働いている方も多い。
預かりの時間については、他の幼稚園よりは長いと思う。

評：他の園より長期預かりの代金が安い。値上げしても良いと思う。
お菓子や教材の値段も上がっている。

保：長期預かりが少ないから、他の園を検討している人がいる。5月の総会までには、長期預かりについて考えていかないといけないと思う。

評：・長期預かり用の人員を増やすことはできないのか？短期バイトのように・・・
・できないではなく、どうしたらできるかを考えていくことが大切。
・日々の預かりを幼保に分けてみて、プチこども園化してみるのはいかがでしょうか？
・行事前や面談期間中は、プラスで試験的に人を雇うのはいかがでしょうか？
・非常勤の先生たちであれば、新しく人を雇うことをしなくても良いので、そこにまず声をかけてみては？

園：・現場としては、行事の準備の途中で抜けて預かりの手伝いで抜けてしまうことに対して、申し訳ない気持ちがある。
・職員室に戻って仕事ができる時間に、預かり保育の手伝いに入ることになる。行事前や面談期間中は大変な部分もある。しかし、預かりの時間にしか見られない子どもの様子や表情もあるので、必要な時間だとも思う。

園：・面談期間中は、担任以外のフリーで帰りのバスに乗ったり、預かり保育をしたりしている。
同じ人が長い間、預かり保育に入ることになるので、多少なりとも負担が・・・
頑張れば今の体制でも預かりができないわけではない。
→評：頑張っていることではない。長期の預かりを、常勤だけで負担しなくても良いと思う。

評：・掃除には負担を感じているか？

→園：日々の掃除に追われているという感覚はない。その負担はない。学期末の掃除は正直負担な部分やここまでしなければならないのか？と思うこともある。

→保：保護者は先生方が夏に掃除してくださっていることを知らない。保護者にも伝えると良い。

<園児獲得のためのインスタ導入、情報発信について>

園として…導入することに関して、難しいことではないが、幼稚園で個人のスマホで写真を撮ることに疑問を持たれている保護者は、少なからずいる。子どもと遊ばず、写真を撮っていると思われ、それが子どもを見ていないという意見に繋がるのでは？ 古き良き暁の星幼稚園が良かった。昔と変わったと思われる保護者もいる。伝統的なものも残していけたらという思いもある。ただ、このまま何もしないのではなく、情報発信の手段として取り入れてみようと検討中。そのためには、園用の媒体が必要。

→評：きちんと保護者に説明していないので、誤解を招いているのでは？

評：・今の時代、まずはインスタが情報収集の入口。ポスターの写真に掲載することからでも良いので、導入してみてもは？

保：・園舎は綺麗か、設備が整っているか、そこで幼稚園を決めている保護者が多い。

・園からの情報発信が多いことも園を選ぶ決め手となる。

・園児獲得のために何をすべきなのか、理事会と現場の温度差があるように思う。理事会と現場のすり合わせをもう少ししていかないと・・・

評：・入園説明会で流すような1日の流れの動画がとても良かった。在園の保護者にも見せたらどうか。

・数年前までは、暁の星幼稚園は敷居が高いと言われていた。今も、昔のイメージが残っている。

・個を大切にするという＝自分の好きなことばかりすることと勘違いされがち。

保：バスを広告塔にしてみてもは？パソコンでカットニングしてバスに貼る等・・・バス活用できれば、いろいろな場所をバス運行するので情報発信に活用できるのでは？

評：インスタを導入することで、そこに手間をかける時間、先生たちの仕事が増えてしまうのでは・・・負担のない程度に始められるところから。

評：SNS、預かりなど、少人数でチームになってそれぞれ進めていく方がいいのでは？みなで話し合っても意見は出ないのでは？

<職員待遇について>

園として…年5日の有給を平日に取るのがやはり難しい。年度末にまとめて取るようになるのが現状。

評：時間給が取れるシステムをつくる。又は、平日に半休を今年度は取る。現場の先生たちの満足度は子どもや保護者の満足度にもつながる。

→理事会として、時間給制度はまだ難しい。

評：常勤が平日に1日有給を取ってみる。実際研修やコロナ等で職員が休むことがあると思うが、それと同じなのでは？

→園：今年は1日でも平日にとってみる。

評：園長、理事長との面談はしているのか？毎年、非常勤も含め1回は面談をした方が良い。

終礼の話が共通理解となるが、非常勤の先生たちは終礼に参加できていないので、支援の子をもっと皆でみてほしいという不満は解消されるのでは？現場の先生たちの話をきちんと聞いていくことが大切。

→理事長：昨年1度面談したが、それ以降、していない。今年度は定期的に面談をしていく。

→園長：非常勤との面談は今までしたことがなかった。

○2部 保護者アンケートについて

園より…靴の自由化 → 今年度は、条件付きで自由にした。

長期預かり → 夏休みは小学校の始業に合わせて幼稚園も2学期を始める。

春休みは2日間ではあるが、預かりを行う。

ティッシュケース → ビニールで持ってくる子どもが多い。落ちるし破れやすい。今までは、中身を出してケースに入れてもらっていたが、今年度からはサイズを見直して、ビニールのままケースに入れても良いことにした。母の集いで伝える。

自由参観 → 3学期だけでなく、別の時にも参観日を・・・という意見があった。今年度は、2学期と3学期に分けて予定している。

評：・なぜティッシュケースを作ってもらうのか、なぜ中身を出すのか、きちんとした理由があるならそれを保護者に伝えるべき。そうすれば、保護者も納得して実行してくれるのでは。

参観日のことも、1学期や2学期にしてこなかった明確な理由があるのであれば、説明していけばよい。

・行事の詳細は、HP等で昨年度の様子の写真と一緒に載せるなどしては？新入の保護者は、行事予定だけをみても、どんな行事か分からない。こまめに伝えていく。

保：・母の係、仕事をしている人は難しい。3、4つ係を掛けもちしている人も出てきた。

負担の少ない係を組み合わせるみては？

・卒園記念の係も入れてもらえないか？相当もめてしまった。

必要ないのではという人も少なからずいる。係になった人の負担は大きい。

→評：・昔はなかった。数年前のAさんたちがし始めたこと。今までは個別にやりたい人がという形だったが、幼稚園は職員皆で子どもたちを見ているので個別をするのではなく、やるなら全体に・・・という話が、このような形になってしまったのではないか？幼稚園に、卒園記念の係を作ったというのは違うと思う。

・保護者には、職員皆で全園児を見ているという実感が無い。イメージも沸いていないのでは？運動会での担当、クリスマスの担当を園日より、マチコミ、ホームページ等でちょっとしたエピソードも添えて紹介するのはどうか？

保：・朝の坂に、先生たちが立って車の誘導をしている。先生たちだけの対応には、限界があるのでは？

→園：保護者の方にも登園時間をもう一度周知し、誘導の時間が1バスの時間、2バスの時間それぞれ15分程度に短縮された。

・餅つきは復活させるか？

→評：衛生面、人員（お手伝いできる人が少なくなっている）等、問題が多い。難しいのではないか？

・フェスタの時、保護者の負担が大きい。

→評：係というのは難しい。ボランティア、任意として参加という気持ちの人の集まりでなければ進めていくのは難しい。サークル的な形にしていくのは？強制的なのは難しい。

評：保護者へのアンケートは選択肢が、「あまり思わない」「そう思わない」なのに対して、職員への選択肢は「努力した」「難しかった」と評価しにくい。努力はみんなする。「あまりできなかった」「全くできなかった」等の書きの方が評価しやすい。

また、設問と自由記入欄にかなりギャップがあり評価が難しい。設問がもっと具体的であるべき。

○学校評価 総評

・長期休暇の預かりについては、出来ないではなくどうしたら出来るかを考えること。

夏休みの預かりは13、14、15のお盆以外はしていく方向で、かつ常勤だけが頑張ることにならない体制を模索する。

・いい園であるということが、あまり周りに知られていない。園をひらき、広める努力が必要。

インスタの活用は必ず園児獲得につながると思う。

個人情報の点には配慮して、まずはお知らせや施設案内等からはじめてみる。

